

平成16年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果

(平成17年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成16年4月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成17年3月

土木部長 福田 正晴

総括コメント

昨年は、7月の福井豪雨をはじめとする大規模な災害等により大きな被害を受けました。被災箇所の早期復旧と復興に、職員の応援体制も整えながら、全職員が一丸となって取り組むとともに、その他の政策合意の実現に向けて、最大限の努力をしました。

特に、交通体系の整備については、舞鶴若狭自動車道や中部縦貫自動車道での事業の進展、福井駅付近連続立体交差事業におけるJR北陸線の高架切替え、福井港における開港の決定など、大きな前進を見ることができました。また、安全な通学路を確保するための照明灯の設置などにも積極的に取り組むなど、この1年の間に大きな成果が得られたと考えています。

1. 福井豪雨や台風による被災箇所においては、次期出水期となる6月までに概ね7割の工事が完成するよう現在、鋭意、工事を進めています。破堤した足羽川や多発した土砂災害については、専門家からなる検討会を設置し、その提言を踏まえた対策工事を実施しています。さらに、災害に関する情報提供や土砂災害警戒区域等の指定など、ソフト対策の充実・強化を図りました。

今後とも、被災箇所の早期復旧と防災体制の強化など、災害に強い県土づくりに全力を挙げて取り組めます。

2. 舞鶴若狭自動車道においては、敦賀市側からの工事にも着手され、用地買収も全体の約5割を確保するなど、事業は順調に進んでいます。また、中部縦貫自動車道においても、大野油坂道路のルート帯の公表や、福井・大野間での用地交渉の進展(上志比村の一地区)がありました。今後とも用地買収の促進など両路線の早期完成に向けて、最大限の努力をしていきます。

3. 福井港においては、本年4月に関税法上の開港に指定されることとなりました。また、敦賀港においても、貨物量の増加と物流形態の変化に伴う港湾計画の改訂作業を進めており、今後とも、これら港湾の活性化に取り組んでいきます。

4. 福井駅付近連続立体交差事業については、4月にJR北陸線の高架切替えと新福井駅が開業します。残るえちぜん鉄道の高架化については、新幹線との一体整備と合わせて早期に完成するよう努めていきます。また、西口駅前広場については、広場の拡大を目指す方向性について福井市と合意したところであり、引き続き積極的に取り組んでいきます。

幸橋と福井駅前地下駐車場(仮称)については、福井豪雨や歩道の陥没に伴い工事の進捗に遅れが生じましたが、今後、工期短縮などさらに検討し、早期完成に努めていきます。

5. 今年度は、通学路を対象にした照明灯の整備や歩道除雪の充実、市街地交差点での除排雪の徹底などに努めました。その結果、概ね良好な評価をいただいたと考えております。

6. 古民家などの歴史的建造物の保存・活用の推進や福井駅前地下駐車場で発掘された石垣の展示計画を取りまとめるなど、歴史的遺産の利活用に取り組みました。

政策合意」の取組項目に係る結果について

別紙「平成16年度 取組項目に係る結果報告(土木部)」のとおり

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】 目標を上回って達成しました。
 目標を達成しました。
 目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
重点項目 1 県民の視点に立った公共事業の推進 公共事業の実施に当たっては、「使う」という視点をより重視するとともに、アンケート調査の実施など県民ニーズの把握に積極的に取り組みます。 (住民参加による「道づくり協議会」の開催 8事業 河川整備計画策定のための住民参加による流域委員会(県内で2つ)の開催 通学路における照明灯等の設置場所選定のための調査 337校)		[成果等] 目標を達成しました。 住民参加によるみちづくり協議会や河川整備に係る流域委員会を開催するとともに、事業を実施するに当たってのアンケート調査を行うなど県民ニーズの把握に積極的に努めました。 (住民参加による「道づくり協議会」の開催 県道福井今立線(仮称)新戸口トンネルなど8事業 河川整備計画策定のための住民参加による域委員会の開催 (丸頭竜川水系、井の口川) 通学路における照明灯等の設置場所選定のための調査 343校)	
2 高規格幹線道路の整備促進 舞鶴若狭自動車道の敦賀からの工事着手に向けて、敦賀市での用地買収の促進に努めます。また、小浜西・小浜間の早期完成に向けて3地区での用地買収の促進に努めます。		[成果等] 取組を継続中です。 昨年12月に敦賀市において起工式が開催され、本年1月には敦賀市で工事着手しました。 また、小浜西・敦賀間全体の約5割の用地買収が完了するとともに、小浜西・小浜間の3地区のうち、2地区で用地買収が完了し、残る1地区で用地測量に着手しました。	
中部縦貫自動車道の福井・勝山間における平成18年度までの一部開通に向けて、交渉を再開した上志比村の1地区での用地交渉に重点的に取り組むとともに、大野・油坂間の年度内のルート決定を目指します。		[成果等] 目標を達成しました。 上志比村の1地区については、地元との交渉を重点的に行った結果、用地の境界確定が概ね終了し、本年3月に地区説明会を開催しました。 また、大野油坂道路については、国に強く要望した結果、昨年12月に国がルート帯を公表しました。	
3 安全で安心できる快適な生活環境の実現 歩道の段差解消や照明灯の整備を進め、安全で安心な通学路を確保します。 (道路のバリアフリー化距離 4路線 1.6 km H16年度から新たに通学路での照明灯を整備 200基)		[成果等] 目標を達成しました。 県内の全小、中、高校からのアンケート結果をもとに、歩道の新設や段差解消、歩行者用照明灯の整備に取り組みました。 (道路のバリアフリー化距離 4路線 1.6km 新たに通学路での照明灯を整備 1,304基)	
除雪に当たっては、アンケートを実施するなど、県民ニーズの把握に努め、歩道除雪の充実や圧雪の早期除去など改善に向けて取り組みます。 (消雪施設の整備 6路線 6km 「雪みち情報ネットふくい」の路面画像数の追加 6箇所)		[成果等] 目標を達成しました。 県民アンケートの結果をもとに、歩道除雪の充実や圧雪の早期除去を行うとともに、新たに交差点での堆雪の処理を行うなど、道路除雪の改善を図りました。 (消雪施設の整備 7路線 9km 「雪みち情報ネットふくい」の路面画像数の追加 6箇所)	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】** ・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 ・取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
4 県民が夢と誇りを持てる県都の整備 福井駅付近連続立体交差事業をはじめとする福井駅周辺整備事業を着実に推進します。 JR線高架部工事の完成 進捗率(H15年度末82% H16年度末100%) H18年度の幸橋橋梁本体完成に向けた事業推進(H15年度末62% H16年度末77%) H18年度の福井駅前地下駐車場完成に向けた事業推進(H15年度末26% H16年度末49%) えちぜん鉄道高架化に向けた関係機関との協議 調整		〔成果等〕 取組を継続中です。 福井駅付近連続立体交差事業については、4月18日に高架切替えを行うこととなりました。また、西口駅前広場については、昨年末に、県と市による連絡会において、広場の拡大を目指す方向性を合意しました。 福井市手寄地区市街地再開発事業について、事業計画の変更、権利変換計画の認可を行い、工事に着手しました。 福井駅前地下駐車場における歩道陥没や幸橋における福井豪雨に伴う工事の一時中断などにより、目標どおりの事業の推進が図れませんでした。 JR線高架部工事の完成 進捗率 (H15年度末82% H16年度末100%) H18年度の幸橋橋梁本体完成に向けた事業推進 (H15年度末62% H16年度末76% 完成予定 H20年6月) H18年度の福井駅前地下駐車場完成に向けた事業推進 (H15年度末26% H16年度末35% 完成予定 H19年度中) えちぜん鉄道高架化に向け、国、鉄道 運輸機構等との協議・調整の実施	
5 歴史的遺産の利活用 福井駅前地下駐車場で発掘された石垣の展示計画を9月までに取りまとめます。		〔成果等〕 目標を達成しました。 発掘された百間掘石垣を、駐車場横の歩道で復元・展示する計画を3月に公表しました。	
幸橋整備において、電車通りの敷石など歴史的遺産の利活用策を年度内に取りまとめます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 旧橋脚本体は、幸橋左岸の下流側に寝かせて展示することとし、基礎の松杭や電車通りの敷石等を含めた具体的な利活用策について、幸橋景観検討会を設置し、検討を進めました。	
個別項目 1 時代の変化に対応した公共事業等の推進 県内業者の受注機会拡大のため、分離・分割発注に努めるとともに、年度内に施工実績要件等の入札条件を緩和します。		〔成果等〕 目標を達成しました。 全ての工事発注案件について、可能な限りの分離・分割発注に努めるとともに、昨年5月から工事実績要件を緩和(8割6割)しました。	
入札制度の透明性、競争性の向上と業務の効率化を図るため、電子入札の平成17年度一部本運用に向けて、年度内にインターネットを利用した実証実験を実施します。		〔成果等〕 目標を達成しました。 電子入札の平成17年度一部本運用に向けて、実証実験を2回行いました。	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】** 目標を上回って達成しました。
 目標を達成しました。
 目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>公共工事のコスト縮減については、地域の実情に合うよう規格・構造等を見直す(ローカルルール)とともに、平成12年度に策定した「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」を年度内に見直すなど、取組みを強化します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>道路整備における規格・構造等の弾力的運用(ローカルルール)を昨年6月に策定しました。また、「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」については、ローカルルールの適用等の施策を追加するなど、3月に見直し強化しました。</p>	
<p>県内業者の受注機会の拡大と県産品の積極的な活用を図るため、下請負人や工事材料の選定について、本年度から、県内業者と県産品の活用にも努めるよう工事契約図書に明示します。</p> <p>(公共工事における県産品活用率指数(H14年度を100とする) 112)</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>県内業者と県産品の活用については、平成16年4月以降特記仕様書に明示しました。</p> <p>(公共工事における県産品活用率指数(H14年度を100とする) 112)</p>	
<p>福井県土地開発公社については、長期保有土地の有効活用や処分方策を取りまとめるとともに、福井県住宅供給公社については宅地分譲事業の販売促進(25区画)に努めるなど、経営の改善に取り組めます。</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>福井県土地開発公社については、長期保有土地の有効活用や処分方策の検討を進めました。また、福井県住宅供給公社については、販売戸数の目標を達成することができなかった(5区画)ことから、今後、経営改善に向けて努力します。</p>	
<p>2 地域間の交流と連携の強化 道路の将来ビジョンに基づき、大都市圏との交流の促進、県境を越えた連携の強化および地域間の連携の強化を図るため、県土の骨格を形成する交通ネットワークを充実させるなど、地域の道路網整備を推進します。</p> <p>(整備完了路線 5路線(国道416号布施田～里別所バイパスなど))</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>昨年4月に、福井県と石川県とを結ぶ国道364号大内峠道路が開通し、新たな広域観光ルートが開拓されるなど、地域間の交流と連携の強化を図りました。</p> <p>(整備完了路線 5路線(国道416号布施田～里別所バイパス、国道364号大内峠道路など))</p>	
<p>地域高規格道路の福井港丸岡インター連絡道路が16年3月に調査区間の指定を受けたことから、ルートや構造について取りまとめます。</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>既存ストックの有効活用、計画交通量の見直し、ローカルルールの適用等により全区間のルート・構造等の検討を進めました。</p>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。
- ・目標を達成しました。
- ・目標達成にはいたりませんでした。
- ・取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
河野海岸有料道路において料金割引による社会実験を実施し、その結果を踏まえ、有料道路の利用促進のあり方等について検討します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		昨年10月下旬から12月下旬まで、河野海岸有料道路において、通行料金を約半額に割引く社会実験を国と共同で実施しました。今回の実験結果をもとに、今後の有料道路の利用促進のあり方等について検討を進めます。	
市街地にアクセスする道路の渋滞緩和と鉄道の活性化を図るため、駅周辺の県管理道路にパークアンドライド型の駐車場を整備するとともに、既設駐車場の利用促進に努めます。 (えちぜん鉄道永平寺口駅、福井鉄道水落駅での駐車場整備)		〔成果等〕 目標を達成しました。	
		2箇所の駐車場を新たに整備しました。既設駐車場の利用促進については、テレビなどを通じた広報活動に積極的に取り組みました。 (えちぜん鉄道永平寺口駅 65台分を整備 福井鉄道水落駅 80台分を整備)	
貿易の振興と地域の活性化を図るため、敦賀港においては鞠山南多目的国際ターミナルなど港湾施設の整備を促進します。また、福井港においても関税法上の開港を目指して、国に積極的に働きかけます。 (敦賀港国内物流ターミナル(金ヶ崎)の供用開始 福井港の将来を展望した「福井港貿易振興プラン(仮称)」の策定)		〔成果等〕 目標を達成しました。	
		敦賀港については、本年2月に敦賀港国内物流ターミナル(金ヶ崎)を供用開始しました。また、福井港については、国に積極的に要望した結果、本年4月1日開港指定となりました。 (敦賀港国内物流ターミナル(金ヶ崎)の供用開始(2月) 「福井港貿易振興プラン(仮称)」5月に策定予定)	
福井空港の利活用を図るため、チャーター便の試験運航を実施し、将来に向けて、旅行会社等による自主運航を目指します。また、航空機の運航の安全性を高めるため、滑走路等空港施設の改修・整備を実施します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		将来の旅行会社等による自主運航の実現のため、チャーター便の試験運航を4回実施しました。また、滑走路の改修(舗装)を行いました。	
小松空港のアクセス向上のため、利用者のアンケート調査等を実施し、パークアンドライド型駐車場などの改善策について取りまとめます。		〔成果等〕 目標を達成しました。	
		小松空港利用者を対象にアンケートを実施しバス事業者と協議を行った結果、京福バス(株)が丸岡バスターミナルにおいて、パークアンドライド型駐車場を本年4月1日から供用することとなりました。また、空港アクセスについてのアンケート調査を実施するとともに、空港付近でのIC新設や案内標識の設置などについて、石川県との協議を進めました。	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】 目標を上回って達成しました。
 目標を達成しました。
 目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
<p>3 ふるさとに夢と誇りを持てる地域づくり (安全・安心) 自然災害から県民の生命・財産を守り、安全で安心できる県民生活を実現するため、治水対策、道路防災、土砂災害防止、海岸保全等に積極的に取り組むとともに、防災に関する情報提供や土砂災害の恐れのある区域の指定などソフト対策を強化します。</p> <p>(九頭竜川水系における河川整備計画原案に対する流域委員会の意見取りまとめ 多田川水系および井の口川水系の河川整備計画策定 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定開始)</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>昨年発生した福井豪雨や台風により河川、道路、土砂災害などの被害を受けましたが、応急工事の実施や災害の早期復旧に全力を挙げて取り組みました。</p> <p>(災害箇所の復旧は、次期出水期までに約7割の完成を目標 足羽川市街地区間については、河床掘削や堤防強化など、今後、概ね5年間で改修を実施 その他の箇所では、河川の拡幅などを3～5年間で整備 砂防事業と台山事業との連携により、概ね3箇年度で砂防堰堤などを整備 福井豪雨により被災した住宅の新築、補修等に対する被災者住宅再建補助金の創設)</p> <p>専門家で組織する委員会を設置し、再度災害の防止等について検討しました。</p> <p>(足羽川洪水災害調査対策検討会 (災害発生の実態把握と今後の治水対策等の方向性) 山間集落豪雨災害対策検討委員会 (山間部における災害発生メカニズムや災害防止方策等))</p> <p>ハード整備だけでなく、ソフト対策を充実・強化しました。</p> <p>(インターネットや携帯電話による雨量、河川水位および土砂災害警戒情報等の提供 土砂災害警戒区域等の指定)</p> <p>(九頭竜川水系における流域委員会の意見取りまとめは、福井豪雨に伴う計画の見直しについて継続審議中 多田川水系および井の口川水系の河川整備計画を策定 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定 敦賀市赤碓など175箇所)</p>	
<p>敦賀港、福井港、内浦港において、海上輸送および港湾の安全を確保するため、テロなどに対する国際的な基準に対応した保安対策を講じます。</p> <p>(国際海事機関(IMO)のリスhtに保安対策の措置済み港湾として登録)</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>敦賀港、福井港、内浦港において、国際的な基準に対応した保安対策を実施しました。</p> <p>(国際海事機関(IMO)に登録 平成16年6月)</p>	
<p>(環境との調和) 水と共生するまちづくりに向けて、関係部局と連携して、水環境と景観の保全・創出等について年内に具体的な方策を取りまとめます。</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>水環境と景観の保全・創出等については、取組み可能な施策についての検討に着手しましたが、福井豪雨に伴う災害復旧との整合を図りながら、平成17年度中に具体的な方策を取りまとめます。</p>	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】 目標を上回って達成しました。
 目標を達成しました。
 目標達成にはいたりませんでした。
 取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
循環型社会の構築に向け、公共事業におけるリサイクル製品等の活用や、下水汚泥のリサイクルの推進に努めます。 (コンクリート二次製品のリサイクル製品利用率 原則100% 建設発生土の有効利用率 68% 下水汚泥のリサイクル率 54%)		〔成果等〕 取組を継続中です。 公共事業で使用するコンクリート二次製品については、福井県庁グリーン購入推進方針に基づき、16年度から新たに、リサイクル製品を原則100%使用することとしました。また、建設発生土や下水汚泥の有効利用を推進しました。 (コンクリート二次製品のリサイクル製品利用率 98% (推計値) 建設発生土の有効利用率 71%(推計値) 下水汚泥のリサイクル率 56% (推計値))	
河川の美化など河川愛護活動に対して支援するなど、美しい河川環境の保全に努めます。また、ヨシ等が自生できる植物帯を創出するなぎさ護岸の整備や、川辺における河原の復元、親水空間の創出など、環境に配慮した事業を実施します。 (草刈活動における参加人数 64,000人)		〔成果等〕 目標を達成しました。 河川の草刈活動を実施した各種団体に対して経費の一部を助成するなど、河川愛護活動を支援しました。三方湖におけるなぎさ護岸の整備を進めるとともに、真名川の河川敷において遊歩道や白河原工事を整備するなど、河原の復元や親水空間を創出しました。 (草刈活動における参加人数 65,280人)	
地球環境への負荷を軽減し快適な生活環境を実現するため、環境配慮型住宅の普及・拡大を図ります。 (県産材を使用するなど一定の品質が確保された良質な住宅の普及 170戸 太陽光発電等の設備を備えた住宅の普及 400戸(1,600kw))		〔成果等〕 取組を継続中です。 県産材の使用など良質な住宅の普及については、目標を上回る成果が得られましたが、一般住宅における太陽光発電設備の普及については、募集期間の制約などから目標を達成することができませんでした。 (県産材を使用するなど一定の品質が確保された良質な住宅の普及 200戸 (申込み戸数) 太陽光発電等の設備を備えた住宅の普及 282戸 (1,130kw))	
(個性と魅力あるまちづくり) 都市計画区域マスタープランの策定を受け、市町村と相互に連携して、地域の創意工夫による個性を生かした魅力あるまちづくりの推進に取り組みます。 (庁内に部局横断的な組織を設置し、市町村のまちづくり条例策定などを支援 景観行政連絡会を開催し、景観に関する新たな制度による景観の保全と向上に取り組む ふくい美観風致維持特区」における違法広告物の一斉除去 福井市など5市)		〔成果等〕 取組を継続中です。 市町村や庁内関係各課と相互に連携して、地域の創意工夫による個性を生かした魅力あるまちづくりの推進に取り組みました。 (「まちづくり条例制定のための支援検討会」を設置し(6月)敦賀市のまちづくり条例制定を支援 景観行政連絡会を2回開催し、大野市、三国町での景観づくりや景観法の活用に向けた県と市町村の取組みについて意見交換を実施 美観特区(6市)と県とが共同した違法広告物の一斉簡易除去を7月に実施するとともに、県の屋外広告物条例を一部改正)	

平成16年度 取組項目に係る結果報告 (土木部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】 ・目標を上回って達成しました。
 ・目標を達成しました。
 ・目標達成にはいたりませんでした。
 ・取組を継続中です。

役職	土木部長	氏名	福田 正 晴
取 組 項 目		取 組 結 果	
電線類地中化等を推進し、美しい街並み景観の創出を図ります。		〔成果等〕 目標を達成しました。	
〔電線類地中化の整備延長 6路線 3km〕		JR武生駅前や国道417号(鯖江市旭町～本町)などにおいて、歩道の整備にあわせて電線類地中化を整備しました。	
		〔電線類地中化の整備延長 6路線 3km〕	
古民家などの歴史的建造物や地域の特色ある景観を構成する伝統的建造物群などの保存・活用のため、年度内に県内の現存施設を対象に調査しデータベース化するとともに、市町村が行う歴史的建造物の保存活用事業を支援します。		〔成果等〕 目標を達成しました	
〔調査対象 歴史的建造物1,800件、歴史的建造物群1,150件歴史的建造物の保存活用に対する支援 1件〕		伝統的建造物群などの保存・活用のため、現地調査を実施し、データベース化しました。また、市町村が行う歴史的建造物の保存活用事業に対し支援しました。	
		〔調査件数 歴史的建造物 1,915件歴史的建造物群 1,332件歴史的建造物の保存活用に対する支援 南越前町 明治殿歴史的建造物の保存・普及に関する講習会の開催 3回 194人〕	
丹南地域総合公園(仮称)については、地域のニーズを踏まえ、年度内に基本設計を策定し都市計画決定を目指します。		〔成果等〕 取組を継続中です。	
		基本設計については、地域団体の代表者、学識経験者等で構成する検討会を設置して検討を重ね、基本設計を策定しました。また、都市計画決定に向けた地元での説明会を開催しました。	